

越前松平家の名品 16 福井城下と街道の風景

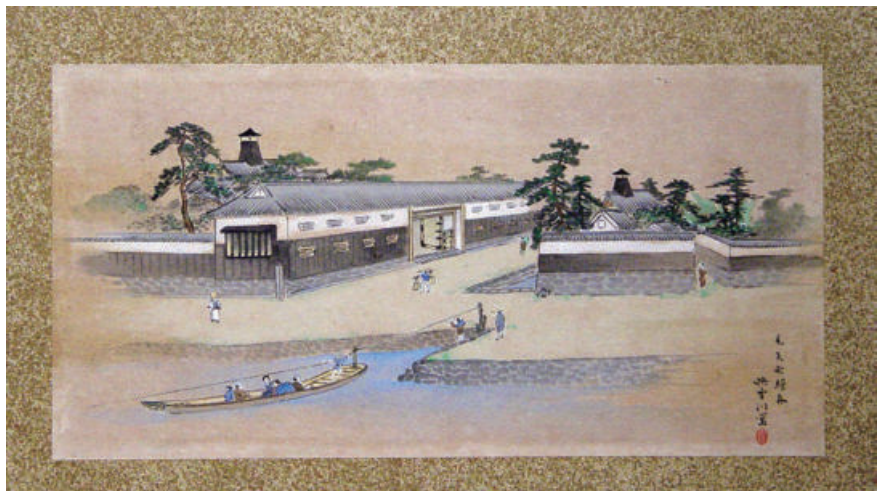
- 会場 松平家史料展示室
- 会期 平成25年1月17日(木)
～3月10日(日)
- 休館日 1月28日(月)、29日(火)、
2月12日(火)、13日(水)、
25日(月)、26日(火)

今回は、福井城下の様子を描いた絵図と江戸時代の北陸道に関する資料を紹介します。現代に生きる私たちが江戸時代の風景を目にすることはできませんが、当館には当時のさまざまな絵図が遺され、城下や街道の佇まいを今に伝えています。江戸時代の人々が見た城下の風景、旅の途中で目にした街道の風景をご覧ください。

福井城下の絵図と景観

江戸時代になると、幕府や藩のみならず民間でも大量の絵図が作成され、武士や庶民の間に普及しました。福井藩でも城下絵図が作成され、その写しも作られました。これらを見ることで城の構造や城下の構成を知ることができます。

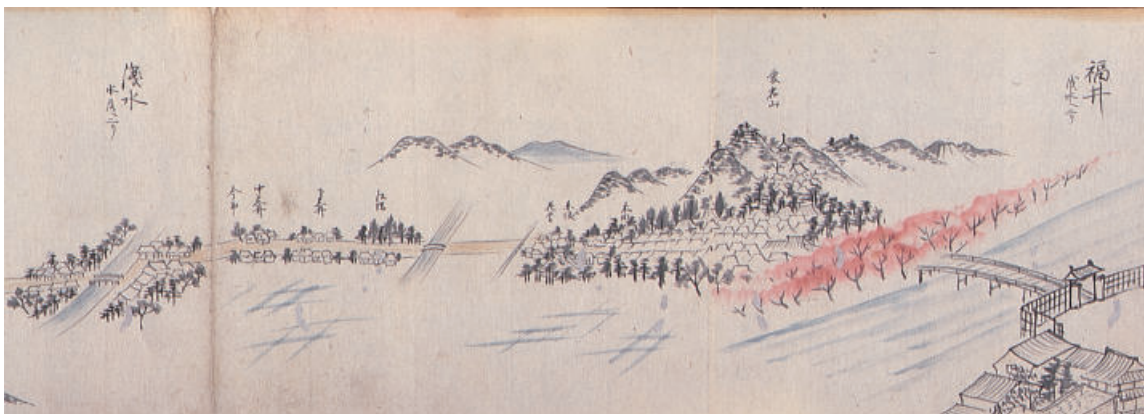
また、江戸後期以降、福井城下のすがたを後世に伝えるため、城郭や武家屋敷などを中心に、その景観が絵に描かれるようになります。これらを見ると、福井城下が城郭と武家屋敷を中心に発達した町であることが、具体的によくわかります。



福井城下図屏風（毛矢町繰舟）当館蔵

北陸道の景観と歌枕

北国と京を結んだ北陸道は、福井城を迂回しながら北から南に向かって通っていました。江戸時代には街道や宿場の整備、庶民の経済的向上を背景として、多くの人々が北陸道を旅するようになります。そのため、絵図形式で道中を案内する道中図が作られました。また、街道沿いの名所は歌枕として和歌や文学作品に登場し、福井市域では玉江やあさむつ橋が知られています。



京阪街道一覽（福井－浅水）福井市春嶽公記念文庫蔵

は玉江やあさむつ橋が知られています。街道を歩いた人々、訪れることはなくとも文学作品を通して街道に触れた人々の見た風景とは、どのようなものだったのでしょうか。

展示資料一覧

No.	資料名	員数	所蔵
1	北庄家中図	1 幅	越葵文庫
2	福井城下絵図（寛文十年写）	1 幅	越葵文庫
3	福井城下絵図（貞享元年之図）	1 幅	越葵文庫
4	福井城郭各御門其他見取絵	1 卷	越葵文庫
5	狛屋敷図	1 幅	福井市春嶽公記念文庫
6	福井温故帖	1 帖	越葵文庫
7	福井城下図屏風	1 隻	当館蔵
8	福井城下絵図（正徳三年）	1 枚	当館蔵
9	越前国絵図（文政元年写）	1 枚	個人蔵
10	福井城下眺望図	1 卷	福井市春嶽公記念文庫
11	足羽神社社頭之図	1 幅	当館蔵
12	京阪街道一覧	1 卷	福井市春嶽公記念文庫
13	枕草子	1 冊	越葵文庫
14	越前国名蹟考	1 冊	当館蔵
15	奥細道菅菰抄	1 冊	当館蔵
16	荊口句帳（複製）	1 冊	当館蔵
17	松尾芭蕉座像	1 軀	当館蔵

北陸道の歌枕を詠んだ短歌・俳句

〔玉 江〕 月見せよ玉江の蘆あしをからぬ先 芭蕉

〔あさむつ橋〕 あさむつを月見の旅あけはなの明離れ 芭蕉

〔文殊山〕 越に来て富士とやいはむむ角原んの文殊がたけの雪の曙 西行



文殊山



浅水町の町並み

次回の展示

松平家史料展示室

テーマ展「越前松平家の名品17」

3月13日(水)～5月6日(月)

松平家史料展示室 展示解説シート No.72
平成25年1月17日発行

福井市立郷土歴史博物館

〒910-0004 福井市宝永3丁目12-1
電話 (0776)21-0489 FAX(0776)21-1489
担当 印牧信明、田中伸卓

印刷 宮本印刷